

一以貫之

平成30年度 敦賀気比高等学校 第2学年
学年通信 第11号
平成31年1月8日(火)

(いちいかんし) 「一を以って之を貫く」とも読みます。
孔子の『論語』にある言葉で「一つの思いを 曲げずに貫き通す」という意味です。
自分がこれと思ったことは、諦めずに最後まで頑張り通しましょう!

3年生0学期を迎えて

～ 学年主任より ～

新年、明けましておめでとうございます。

昨年度の学年通信にも書きましたが、これから始まる第3学期は、1年の締めくくりであると同時に、2月からは3年生が登校しなくなるという学校の雰囲気から言っても、新しい1年の始まりです。

さらに言うならば、来年のこの時期は、一般入試で進学を目指す人など一部のを除いた多くの人が、卒業後の進路が決まっているはずで

この進路を決めることを考えるならば、**10月には、進学を目指す人は推薦入試が本格化(早いところでは、9月に行われることもあります)し、就職を目指す人の採用試験も始まる**わけです。

こうした試験を受けるためには、それなりの準備(志願票や志望理由書などの書類の準備、面接・小論文の練習など)に、**1ヶ月ほど必要**ですので、**遅くとも夏休み中(8月)には、具体的な進路を決めること**(どこの大学に進学するのか、または、どの企業に就職したか)が必要があるのです。

皆さんが3年生とよばれるのは4月からですが、この3学期を3年生0学期と考え、将来を見すえた行動を取って欲しいと思います。

なお蛇足ですが、推薦入試や就職の採用試験を受験するには基本的に学校の推薦が必要です。推薦するとは、その高校の「一押し生徒」なものですから、校則に違反するようなことがあってはならないと言うことです。もしも問題を起こし、**何らかの指導処置が言い渡された場合**、状況にもよりますが、**基本的に推薦はもらえない**と覚悟してください。また、指導処置に至らなくても、常日頃先生から注意されている場合も、推薦からもらえる可能性があることも自覚すべきです。**来たるべき日に向けて、自覚と責任のある行動をとってください。**



行事予定

1月 8日(火)	第3学期始業式
13日(日)	附属中学校入試
14日(日)	成人の日
18日(金)	第3回漢字検定
19日(土)	県模試(大学進学を希望する人は、受験しましょう)
～20日(日)	この2日間は、大学入試センター試験が行われます。 (国公立大学を目指す人は、1年後に受験することになります。)
21日(月)	休業日 高校・推薦制・スポーツ文化選抜入試
22日(火)	基礎力診断テスト(教養コース)
26日(土)	土曜特別学習会(全校登校日)
27日(日)	英検(1次)

28日(月)～31日(木) この期間は、高3・卒業試験が行われます。
(いよいよ3年生がいなくなります。3年生の自覚を持ちましょう。)



進路を考えよう

第9回 面接練習、始めていますか?



あなたは、面接の練習をしていますか。
「面接の練習は、受験する大学や会社が決まってからするものでしょ」などと、のんきに考えている人はいませんか。

新しい入試制度になると、一般入試においても面接試験を行う大学が出てくる可能性があります。多くは推薦入試の時に Rowe れます。

応募者が多数いて、何人も不合格になるようなケースでは、あなたの様子を厳しく観察されますが、**指定校推薦や就職する場合の学校推薦における面接では、学校(敦賀気比高等学校)が推薦していますから、多少の問題があっても、面接官は目をつぶってくれます。**

こうした話を聞いて、「だったら、大学に行くなら指定校推薦を就職するなら学校推薦をもらえば大丈夫だ」などと安心してほしくありません。確かにあなたは大丈夫かも知れませんが、**次年度の募集枠が減らされたり無くなったりするから**です。こうした傾向は、皆さんが行きたいという希望の多い学校や会社ほど、はっきりしています。

つまり、どのような形であっても**面接試験を受けるのであれば、それ相応の覚悟を持って、準備をしておく必要がある**ということです。

さて話は変わりますが、皆さんは「プラザ萬象」に行ったことがありますか。

「行ったことがある」という人は、その玄関脇に銅像があるのに気づいていますか。そして、その台座に「**積小為大(せきしょうだい)**」と書かれていることを知っていますか。

知らないという人は、機会があれば確かめてほしいのですが、**銅像のモデルは、神奈川県小田原市生まれの農政家・思想家である二宮尊徳**という人です。

近くを流れる川の氾濫のために家は没落し、過労により両親は亡くなるという逆境の中でも勉学を欠かさず、荒廃した土地の再生に手腕を発揮した人物です。

幼少の頃、農作業の行き帰りに書物を手放さなかったという事で、かつては、小学校に銅像が建っていました。いわゆる「**二宮金次郎像**」です。しかし最近では、歩きスマホを助長するような銅像であり、子どもの安全によるしくないなどという苦情があって、多くの学校でこの銅像が撤去されているようで、個人的には、非常に残念な気がします。(余談になりました。)

ところで、台座に書かれている言葉の意味ですが、「**小さな努力の積み重ねが、やがて大きな収穫や発展に結びつく。小事をおろそかにして、大事をなすことはできない。**」ということです。

ここで、最初の面接の話に戻しましょう。

「積小為大」の後の意味「大事をなす」を会社や大学に「合格する」と解釈するならば、始めに書かれた「**小さな努力を積み重ねる**」とは何でしょうか。

それは、普段の身だしなみや言葉遣いだと考えられます。

先生と親しくなったから、最上級生になるからといって、横着な態度を取らず、**高校3年生として品格のある態度とは何かをイメージして生活**こそが、**最高の面接練習**であると思います。

こうした意味においても、2月に行われる修学旅行は非常に大切な意味を持っています。修学旅行中は、品位ある行動とは何かを思いながら行動してみましょ

